

# 駒澤大学1-2筑波大学



## 首位・筑波大の前に屈し、3戦未勝利…

ホームでの痛い敗戦に、肩を落とすイレブン(撮影:佐藤 亮)

10月1日 11:30 駒沢オリンピック公園総合競技場

駒大 1 (1-2) 2 筑波大  
(10位) (0-0) (1位)

得点者(アシスト)

[駒]4分奥村

[筑]19分上村  
[筑]34分曾我(玉城)

### KOMAZAWA

GK② 檜山昇吾(2)  
DF② 大木 暁(1)  
DF③ 川岸裕輔(1)  
DF④ 林堂 眞(4)  
DF⑤ 三澤祥馬(3)  
MF⑤ 山崎絢吉(4)  
MF⑦ 碓井鉄平(2)  
MF⑧ 奥村 情(3)  
MF⑥ 濱田 宙(4)  
(73分)⑨ 小牧成互(1)  
FW⑨ 湯澤洋介(3)  
(59分)⑩ 大園祥太(4)  
FW⑫ 山本大貴(2)  
(78分)⑪ 肝付将臣(4)

### S U B

GK① 松浦和己(4)  
DF② 友廣壮希(2)  
MF② 江川昇吾(4)  
MF① 板倉直紀(1)

### MANAGER

秋田浩一

### TSUKUBA

GK① 三浦雄也(4)  
DF② 石神幸征(4)  
DF② 車屋紳太郎(1)  
DF② 古谷真悟(4)  
DF⑤ 山越亨太郎(3)  
MF③ 谷口彰悟(2)  
MF⑩ 八反田康平(4)  
MF⑭ 玉城峻吾(2)  
(90分)⑪ 瀨沼優司(3)  
FW⑧ 上村 岬(2)  
FW⑨ 赤崎秀平(2)  
FW⑦ 曾我敬紀(3)

### S U B

GK② 神舍 宏(2)  
DF⑧ 松田 貫(3)  
DF② 田代 諒(1)  
MF⑩ 眞本啓太(2)  
MF② 中野嘉大(1)  
FW⑥ 不老祐介(3)

### MANAGER

風間八宏

[シュート]10:15 [GK]14:11 [CK] 1:2 [直接FK]11:15  
[間接FK]4:4 [主審]渡辺紀承 [観衆]約350人

警告(C)/退場(S)

[駒]山崎絢吉(C) [駒]大園祥太(C)  
[駒]湯澤洋介(C) [駒]林堂 眞(C)  
[駒]濱田 宙(C)  
[駒]肝付将臣(C)  
[駒]肝付将臣(C)  
[駒]肝付将臣(S)

※データの左側が駒大

### ホームで痛い敗戦… 気持ちとは裏腹に大荒れ

現在、首位を独走している筑波大に泥を付け波に乗りたい駒大だったが、気持ちが先行したのか試合は大荒れに。暗雲拭い去れず、ホームで痛い敗戦を喫した。

開始4分に早くも試合は動いた。奥村、湯澤が連続して放ったシュートはどちらもGKにはじかれるが、こぼれ球を最後は「決められて良かった」と、再び奥村が押し込んで先制。その後も湯澤がフリーでゴールを狙うなど果敢に攻めるが、追加点には至らなかった。

流れが変わったのは19分。山本がPA付近でファールの判定を受け、与えてしまったFKを確実に決められて同点に持ち込まれた。24分に奥村のロングシュートなどで筑波ゴールを狙うが、「ワンボランチの弱みのところを突かれてしまった」(秋田監督)と、33分には筑波大を象徴する早いパス回しで完璧にDFを崩されて逆転ゴールを許した。そこから試合は動かず、1点ビハインドで前半を終了。

後半に入り、林堂主将を始めとした最終ラインでの必死のディフェンスで、互いにゴールのないまま時間だけが過ぎていった。59分に3試合ぶりの出場となる大園を

投入すると73分、小牧もピッチへ。

追加点を奪いたい焦りからか、要所でのファールが目立ち始め、78分に肝付が投入されるが、立て続けのラフプレイで2枚のイエローの判定を受けて退場処分に。残り時間もわずかとなり、大園や碓井がライン際のボールにもにも懸命に食らいつくなど、10人となってしまった駒大は、「1人減った分、前に前についていう気持ちが生まれた」(林堂主将)と、1点を追ってそれまで以上に怒涛の攻撃を見せた。

1人少ない危機的状況で、奮闘したのがルーキーである小牧。84分にはわずかに枠を逸れたものの、フリーでシュートを放った。ロスタイム2分には大園のセンターリングに小牧が合わせて筑波ゴールを脅かした。それでも幾度もの好機をものに出来ず、そこで試合は終了。「チャンスはあったが、最後のところで自分の甘さが出てしまった」と、試合後に小牧は悔しさを滲ませた。

この試合で提示されたイエローカードはまさかの7枚。勝利を渴望する気持ちが先行してしまったのか、大荒れの試合となってしまった。次節、出場停止の選手が多くいる中でどのように勝ち点を狙っていくのか。最終目標である関東リーグ優勝まで、もう1戦も負けられない。(河田奈津子)